

1 指宿地域を支える担い手の育成

1-2 指宿地域を支える担い手の育成

(経営体・青年農業者・女性農業者・地域営農)

成果の要約

- 1 モデル経営体の26戸を選定し、経営分析や技術診断を行い、経営改善の目標設定をした。
- 2 農業経営基礎講座や個別指導等により、新規パソコン複式簿記記帳者が4戸増えた。
- 3 資金計画等営農計画の作成支援により、規模拡大を図る新規就農者が育成され、法人化を志向する重点志向農家に、税理士等専門家を派遣し、1戸が法人化した。
- 4 AGR I 倶楽部指宿のクラブ員に対し、プロジェクト活動を支援し、各自が課題解決に向けて取組への意識向上が図られ、青年農業者会議で1名発表できた。
- 5 若手女性農業者を対象に研修会を通じた仲間づくりと経営管理等の情報を提供し、経営参画への意識醸成が図られ、今後の支援対象として捉えることができた。
- 6 新西方地区役員との話し合いにより、地域農業振興に向けた取組内容を明確にできた。

1 対象

- (1) 支援対象(モデル)経営体 26 戸
- (2) 認定農業者 334 戸
- (3) 農業次世代人材投資資金対象者 116 戸
- (4) プロジェクト重点対象者 4 人
- (5) 若手女性農業者 5 人
- (6) 新西方地区地域営農を語る会 1 組織

2 課題を取り上げた理由

- (1) 経営開始資金交付終了後、認定農業者へ移行する新規就農者が少ない。
- (2) 野菜や花き、畜産経営体で法人化が進んでいるが、更に法人志向農業者を把握し、推進する必要がある。
- (3) 課題解決能力に優れた青年農業者を更に育成する必要がある。
- (4) 農業経営や地域活動等に積極的に参画する女性農業者を育成する必要がある。
- (5) 地域計画をもとに担い手への農地集積を推進する必要がある。

3 活動の内容及び成果

- (1) 効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指す担い手の育成
 - ア モデル経営体の育成
モデル経営体 26 戸を選定し、対象農家の経営分析や技術分析を行い、経営改善を促進した。農業経営基礎講座や個別指導等により、新規のパソコン複式簿記記帳者が 4 戸増えた。また、新たに施行されたインボイス制度への対応、インターネットバンキ

ングを利用した自動仕訳による記帳事務の軽減など、経営管理研修会（写真 1）等を通じて、周知を図った。



写真1 経営管理研修会

イ ゆとりある経営に向けた環境整備の取組支援

1 組の新規就農者を対象に、配偶者の経営参画に伴う役割分担等について、家族経営協定書の作成支援を行い、経営改善の手段として、家族経営協定の推進を図った（写真 2）。



写真2 家族経営協定推進による経営改善支援

(2) 農業法人化及び法人への支援

毎月農業法人 17 社への情報発信を行った。また、3 戸の法人志向農家に対し、農業経営・就農支援センターより税理士、社会保険労務士を依頼し、法人設立に関する理解を深め、1 戸が法人化した (写真 3)。



写真 3 法人化検討会

(3) 次代を担う青年農業者の育成

課題解決能力向上を目的に AGRI 倶楽部指宿会員等のプロジェクト活動支援を行った。定例会で進捗状況の交換とともに意見交換を通して青年の資質向上・課題解決につながるよう支援を進めた。また、AGRI 倶楽部指宿が山川小学校 3 年生を対象に学校農園での食農教育支援 (写真 4) として玉ねぎ栽培を行い、児童の農業への興味・理解につながるよう支援した。



写真 4 山川小での食農教育支援

(4) 若手女性農業者の育成

農業の技術・経営管理能力の向上を目的に、畜産の女性農業者を対象に研修会を行い、今後の若手女性農業者育成の足がかりとなる支援となった。また、ファームコネクト指宿会員らと若手女性農業者等との交流を図ることを目的に『よか余暇ライフの集い』(写真 5) を開催し、指宿の観葉植物を使った体験講座等を行い、観葉植物の生産や消費拡大についての理解につながった。



写真 5 よか・余暇ライフの集い

(5) 農地集積を見据えた話し合い活動支援

新西方地区役員に対し、関係機関・団体が連携し、地域計画を実行するための話し合い (写真 6) を行い、露地野菜の生産安定に向けた基本技術の取組強化を検討することになった。



写真 6 新西方地区役員との話し合い

4 今後の課題

- (1) 指宿地域の農業を持続的に発展させる多様な担い手 (認定農業者、農業法人等々) の育成
- (2) 経営実態を踏まえた経営改善対策の充実
- (3) 課題解決手法を習得し、地域農業の中核となり得る「青年農業士」の育成
- (4) 農業経営や地域活動に積極的に参画する「女性農業経営士」の掘り起こし及び育成
- (5) 夏季の高温で、露地野菜の生産性が低下しないための基本技術の見直や取組の強化

5 担当した普及職員 (〇はチーフ)

〇山下、茶圓、松崎、樋口、川畑、高橋、濱崎、黒木、町田